

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：消化器がん研修プログラム

病院名： 北海道がんセンター

2. 診療科：(専門領域)

消化器内科、腫瘍内科

3. コースの概要

留学期間中、消化器がん領域の診断から治療について研修を行い、内視鏡の基本的な手技について習得する。

4. 目標

消化器がんの診断に必要な基礎的知識、特に内視鏡診断、治療方法の選択などの基本を修得する。さらに消化器がんの専門知識と幅広い臨床能力を取得し、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、がん薬物療法専門医、肝臓専門医などに進む医師の育成を行うと同時に、内科医として広い視野を持って日常診療にあたる能力を身につける。

5. 取得手技

消化器がんの正確な診断、ステージング、治療法の選択を習得する。  
消化管および胆膵内視鏡の基本的な手技、抗がん剤の適正な使用法を習得する。

6. 研修期間：6ヶ月

7. 募集人数：1名(同一時期)

## 8. 診療科の実績

令和4年度

上部消化管内視鏡検査		2483	下部消化管内視鏡検査		1303
食道	ESD	6	大腸	EMR	284
	EVL・EIS	12		ESD	25
	ステント・拡張	5		止血等処置	30
胃	ESD	29		ステント・拡張	8
	EMR	3		経肛門的イレウス管	8
	止血等処置	38		小腸	カプセル内視鏡
	異物除去	10	小腸内視鏡		9
	PEG	12	胆膵内視鏡検査		
	ステント・拡張	6	ERCP/関連処置		109
	内視鏡的イレウス管	37	超音波内視鏡・EUS-FNA		87

## 9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 7名

主として研修指導にあたる責任医師 佐川 保 (経験年数 31年)

主として研修指導にあたる責任医師 永島 裕之 (経験年数 23年)

## 10. コンセプト

消化器内科および腫瘍内科で取り扱う主な疾患は消化管（食道、胃、小腸、大腸）、肝・胆・膵の悪性腫瘍と原発不明癌である。さらに、消化管出血、静脈瘤、肝炎、膵炎、胆のう/胆管結石などの良性疾患も扱っているため疾患が非常に多岐に渡る。したがって、全身を診ることができる幅広い知識が必要であり、つねに視野の広い診療を心がける姿勢が要求される。

## 11. その他（研修関連情報など）

病棟カンファレンス（週一回）

消化器外科/内科カンファレンス（週一回）

外来化学療法センター カンファレンス（週一回）

キャンサーボード（週一回）

ゲノムエキスパートパネル（週一回）

内科、消化器・内視鏡、がん関連学会・研究会・セミナーへの参加